



寺尾病院 NEWS

2015

12

冬号

巻頭言 挨拶

呼吸器専門医
堀内 雅彦



Q 寺尾病院に勤務して数ヶ月経ちましたが、寺尾病院の印象はどのようなですか？

本年5月の新病院完成と同時に当院での勤務を始めました。今までは呼吸器や循環器疾患の急性期診療を行う、いわゆる一般病院での勤務経験しかありませんでしたが、今回、新病院の完成直後の真新しさはもちろんのこと、規定があるとはいえ、車いすやベッドでの移動や患者さんの身体的介護を考慮した余裕のあるゆったりとした病室や患者食堂、トイレ等のスペースやリハビリテーション室等の病院のハード面での充実した設備を見て、改めて高松 徹 院長がおっしゃられているように、寺尾病院がこれから回復期リハビリテーション分野や長期療養型医療により一層の力を注ぎ、この地域の方々から信頼され、且つなくてはならない病院であり続けることに努力しつつ、地域医療に貢献していこうとされる決意を感じています。

Q 専門分野についてお聞かせください

元々は呼吸器外科医で、外科現役時には肺癌に対する手術を含めた集学的治療に取り組んできましたが、現在は呼吸器疾患を中心とした内科的診療に携わっています。皆様方も新聞や雑誌、テレビなどで良くご存じのことと思いますが、呼吸器科医にとって、タバコを吸われる患者さんに対する禁煙指導はとても重要で、特に慢性閉塞性肺疾患や気管支喘息などでは、その原因となるだけではなく、症状そのものを進行、悪化させます。また、肺癌はもちろんのこと、喉頭癌や食道癌を始め、ほとんどすべての癌において、喫煙者のほうが癌発生のリスクが高くなっています。また、狭心症、心筋梗塞などの心疾患や脳出血、脳梗塞などの脳血管疾患は動脈硬化が原因で発症し、喫煙はこの動脈硬化を促進して助長因子となり、これらの疾患はまとめて喫煙関連疾患とも呼ばれています。当院では急性期の脳血管疾患や心疾患での治療後にリハビリテーション目的で入院される患者さんが多くおられますが、外来診療では積極的な禁煙指導を行うとともに、生活指導や栄養相談なども一緒に行って、発症リスクの低減や症状の軽減維持に努めることが大切だと思っております。21世紀は予防医学の時代と言われていますが、禁煙は病気の予防の確実な第一歩であり、何よりもタバコを吸わないことが大切です。

Q 地域医療機関との医療連携において、今後の課題・目標をお聞かせください

当院の地域医療連携室のソーシャルワーカーや訪問看護、リハビリテーションのスタッフ等の力を借り、近隣の急性期の病院や開業医の先生方、介護系施設の担当者の方々との緊密な連携を取りながら、この地域での回復期リハビリテーションや長期療養医療の拠点的な病院づくりを目指した寺尾病院の取り組みに、私自身の専門性を生かしながら、微力なりとも貢献していきたいと思っております。

部署紹介
Vol.2

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションは、
11月より別棟にあった建物から病院内へ移設しました。

当院で行う通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）では、ご利用者様ごとに作成された計画に基づき、日常生活のお世話や、理学療法、作業療法などのリハビリテーションを行います。ご利用者様の心身機能の維持回復を図り、お一人おひとりの能力に応じ、自立した日常生活を送っていただけるようサポートをしています。

また、11月より病院内へ移設し以前よりも広くなり、ご利用定員の数も35名から50名へと増え、多くの方がご利用できるようになりました。



- 営業日／月曜～土曜 ※日・祝日・年末年始は休業日となります。
- 営業時間／9：30～16：00
- ご利用定員／50人
- 送迎実施地域／植木町・玉東町・旧西合志町・熊本市
(川上地区・北部東地区・北迫町・硯川町・下硯川町) ※その他の地域は応相談
- TEL：096-245-7156 FAX：096-245-7157

研修 報告

第12回病院広報実務者会議 in くまもと に参加して

事務部 総務課 清田 美由紀

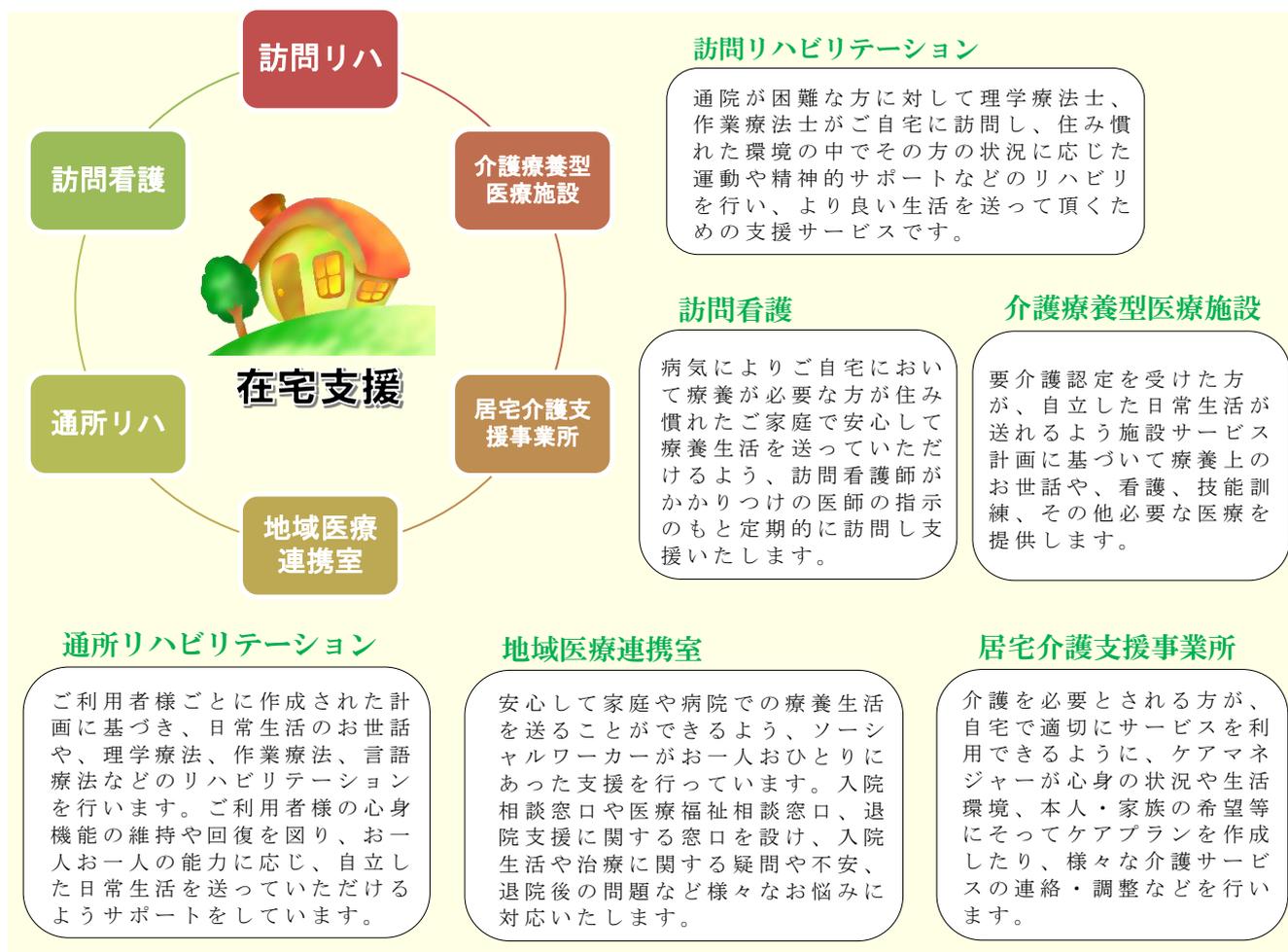
平成27年11月14日～11月15日の2日間にわたって「第12回病院広報実務者会議 in くまもと」が済生会熊本病院にて開催され、参加させて頂きました。

今回の研修では、講演、ワールドカフェ、研究発表の内容の元進められました。研修に参加し、それぞれの広報担当者の方の取り組み、考え方などに触れ大変刺激を受けました。また、自分自身の広報に対する取り組みの甘さ、力量のなさに気づかされました。研究発表の内容の中に「広報誌リニューアルと今後の展開」についての発表があり、リニューアルに向けて積極的に研修に参加し、TTPを実践という話を聞きました。TTPとは「徹底的にバクル」の略です。また、他の病院では、広報誌の改良ポイントとして、①共感できる②暮らしに溶け込む③実際に使える、などの読み手に寄り添う内容が挙がっていました。様々な病院の研究発表を聞き、一つひとつが自分の中に響いております。参加された病院の広報誌を読ませて頂いたのですが、内容、構成、写真などのレベルが高く、どの広報誌もぜひ参考にさせて頂きたいと思える広報誌ばかりでした。

当院の広報誌は今回で4回目の発行となります。今後は、この研修会で気づいた点を見直し、より良い内容の広報誌を作れるように、ここで学んだことを十分に活かし役立てていきたいと思っております。

在宅支援センターの設立

当院は、ご利用者・ご家族と一体となって計画的に在宅復帰を支援する取り組みをおこなっています。医師・看護・介護・リハビリ・管理栄養士・薬剤師・支援相談員・ケアマネジャーなど、多職種でのチームケアに加え、ご家族とも緊密な連携を図ることで、安心して在宅復帰ができますようサポートいたします。



円滑な社会復帰、在宅復帰を促すためには、基本的な機能訓練や、訓練室での模擬的な日常生活動作（ADL）だけでは不可能です。実用性のあるADLを獲得するには、日常生活に密着したADL訓練が必要です。

ADL訓練に加え、退院後、居宅での生活における問題点を早期に把握・解決し、円滑な在宅復帰を促すために、看護師、ケアマネジャー等と協働し、積極的な退院前訪問指導を実施しています。退院前訪問で得たご自宅の環境や患者さまの生活歴などの情報を、多職種のスタッフにより、あらゆる角度から検討し、その患者さまにふさわしいプログラムを立て、さらに福祉機器、住宅改修の相談も併せて進めるなど、スムーズな早期在宅移行に取り組んでいます。

当院は83年目を迎え新病院も完成いたしました。さらにこの度、上記の内容をふまえ、地域で安心した生活を送れるよう在宅支援センターを設立いたしました。このセンターを通じてこれからも変わることなく良質なケアの提供とサービスの質の向上に努め、継続して在宅復帰を推進し在宅療養を支援する体制を築いていきたいと思っております。

編集後記

早いもので今年のカレンダーも、残すところ1ヶ月となりました。振り返ると、去年の12月に入職し早くも1年が経ちました。病院に勤務することも、広報誌を作る仕事をするのも初めてで、新鮮な1年でした。来年は、研修で学んだことを活かして広報誌を充実させたいです。私生活では、整理整頓できるように頑張ります！少し早いですが、良いお年をお過ごしください。来年もよろしくお願いいたします。 事務部 清田 美由紀



外来医師担当表

受付時間 午前8:30~11:30 午後13:00~16:30 診療時間 午前9:00~12:00 午後14:00~17:00

		月	火	水	木	金	土
耳鼻咽喉科	午前	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾
	午後	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾	寺尾 担当医 (大学病院)
整形外科	午前	高松	高松	高松	高松	高松	高松
	午後	高松	高松	高松	—	高松	—
外科	午前	担当医 (大学病院)	—	—	—	—	—
	午後	担当医 (大学病院)	—	—	—	担当医 (大学病院)	担当医 (大学病院)
皮膚科	午前	—	—	大山	—	大山	—
	午後	—	—	大山	—	—	—
内科	午前	城 松本	堀内 — 二 三 小島	城 小島	堀内 深堀	城 松本 小島 光武(第2・4)	堀内 担当医 (大学病院)
	午後	城	堀内	松本	深堀	松本	担当医 (大学病院)

※担当医は毎週、大学病院より診察に來ます。 ※急患対応、緊急手術、学会出席や出張研修等により休診となる場合があります。
 ※日・祝日は休診です。急患の方はこれに限らず24時間対応致します。 12月1日現在

特別診療 当院では熊本病院より専門医が診察を行っております。ご希望の方は受付窓口にご相談ください。

		月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前				小島 淳		
	午後	副島 弘文			小島 淳		
呼吸器内科	午前			堀尾 雄甲			
	午後						
神経内科	午前				松尾 圭将		
	午後						



- 九州産交バス／熊本～山鹿線
植木1丁目バス停より……………徒歩約1分
- JR九州／JR鹿児島本線
植木駅下車……………タクシーで約8分
- 自家用車／九州自動車道
植木インターより……………車で約10分
熊本市水道町交差点より…車で約30分



医療法人 寺尾会
寺尾病院
 熊本市救急告示病院

〒861-5504 熊本市北区小糸山町 759

TEL (代表) 096-272-0601

FAX 096-273-2759

TEL (デイケア・居宅) 096-245-7156